



いいんじゃないか？
真面目で変な噂もない
好青年だ



あの奥手な
彼に？

なに…？

角谷君に
告白された？

はい…



…その気が
無いわけだね



…



仕事も早くて
尊敬できる先輩では
あるんですけど

はい…



お互い良い経験に
なるんじゃないかな
それに…

職場の空気とかを
気にしているのかも
知れないが
素直に断るのも
悪いことではないと
思うよ



君のように
容姿も内面も
綺麗な女性なら

またすぐに
いい人が
現れるよ

もちろん
角谷君にもね

か！あ？



…っと今のは
セクハラに
なってしまうか

気を付け
ないとだね
はははっ



ん？



…ですか？

…



橋爪さんよりも
綺麗ですか!?

本当ですか!?



橋爪君?
うちの課の?
んーまあ:
そうだね
個人的な
好みの話
だけれども

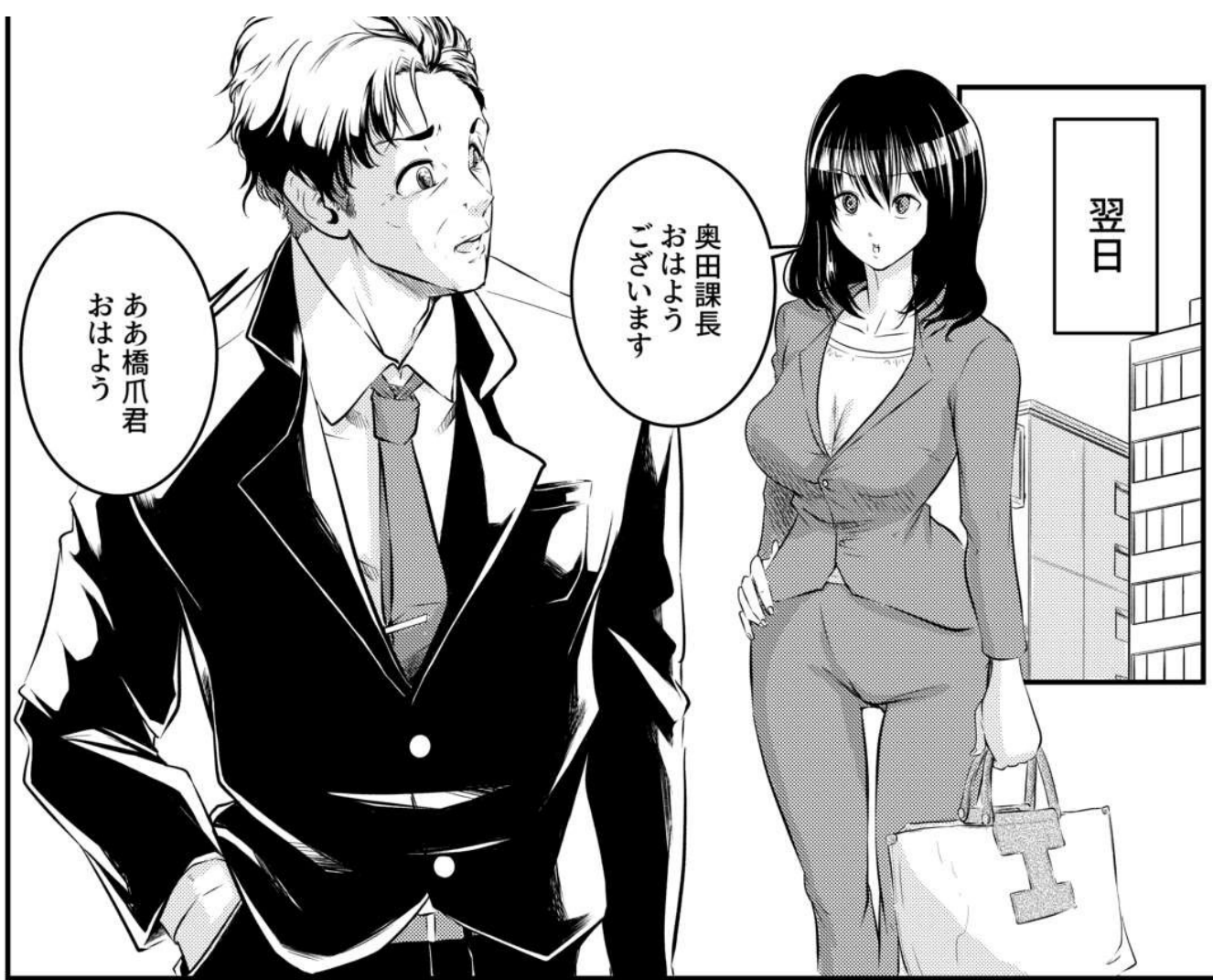


やけに反応が
良かったな:



ありがとう
ございますっ!

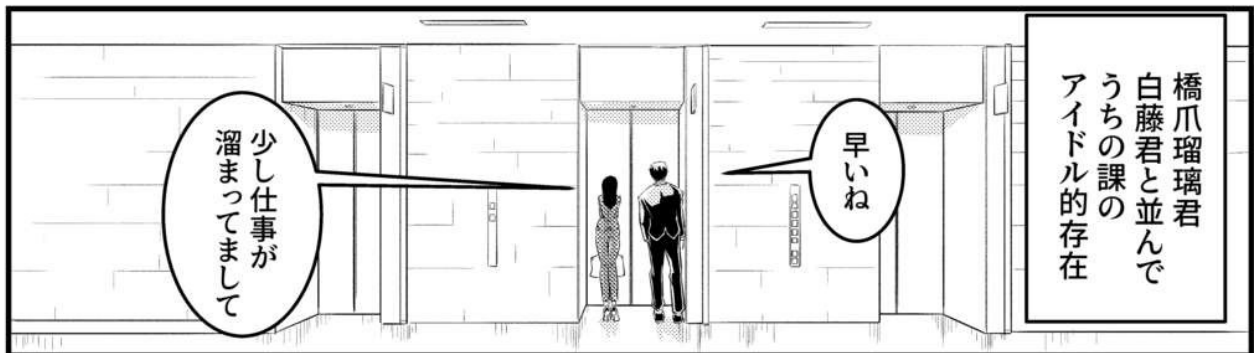
実は今日
角谷さんに
食事に誘われて
るんです
その時にお断り
してきますね



翌日

奥田課長
おはよう
ございます

ああ橋爪君
おはよう



橋爪瑠璃君
白藤君と並んで
うちの課の
アイドル的存在

早いね

少し仕事か
溜まってまして



妻には話せない
小さな秘密だ

おや?



昨日白藤君には
あんなことを
言ってしまったが

彼女も学生時代に
片想いだった女性に
どことなく似ていて

あの頃の気持ちを
思い出させてくれる
魅力的な女性だ

彼女のような
女性ともう一度
結婚できたらと
想像してしまう
こともある



どうやら一番乗りは取られてしまったようだね

おはよう
白藤君
早いね

おはよう
ございます
課長

急がないと
仕事が溜まる
一方なので
早く来ただけです



ん？



橋爪先輩
確認お願いします

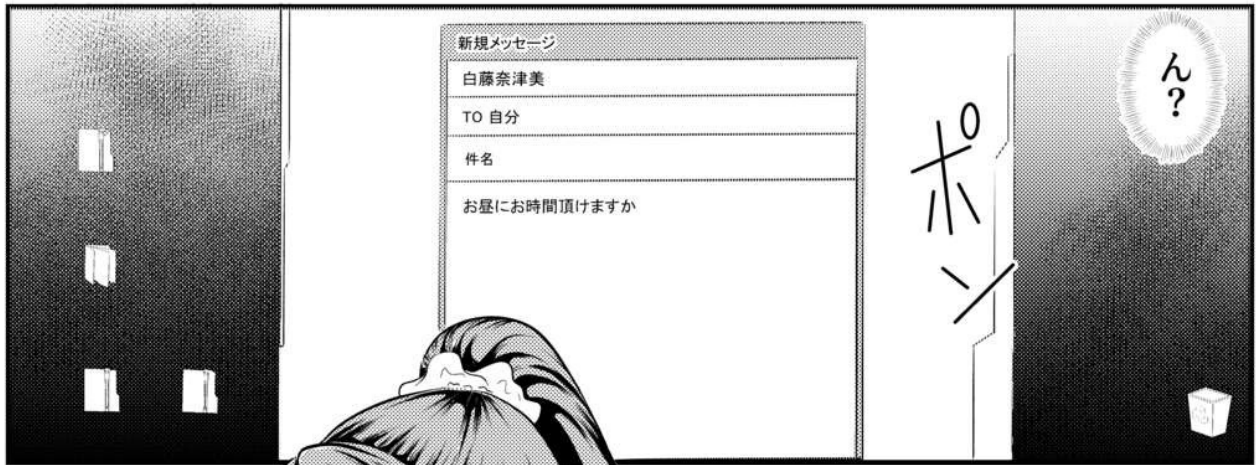
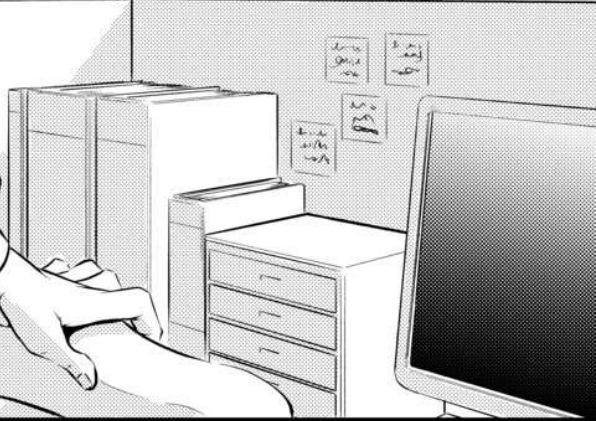


そうか
それは感心だが
無理しないようにな

はい



ありがとうございます
ございます





なんだって？
一体何を
言い出すんだ
白藤君

ですから
白藤さん
ではなく

僕ですよ
角谷です



無理もないです

順を追って
話しますね



混乱して
いますね
課長



昨晚僕と白藤さんで
食事に行ったことは
ご存知ですよ

ですが結果は
惨敗



そこで
これです



何としても彼女に
首を縦に振ってもらう
必要があります

白藤さんには
他に好きな人が
いるとのことでした
ですが
そんなことで
諦めたくなかった
僕は



もちろん
分離だけじゃ
ありません

この薬を飲むと
半径数メートル範囲
にいる人間の肉体を
乗っ取れるんです



肉体から魂を
分離する薬です



僕はフラれた
ショックで
泥酔している
フリをして

白藤さんに
自宅まで付き添って
もらいました
そこで…



にわかに信じがたい話だ
私をからかっているのか？

だが確かに…



彼女の肉体を
乗っ取りました

なので
僕の本体は今
昏睡状態です

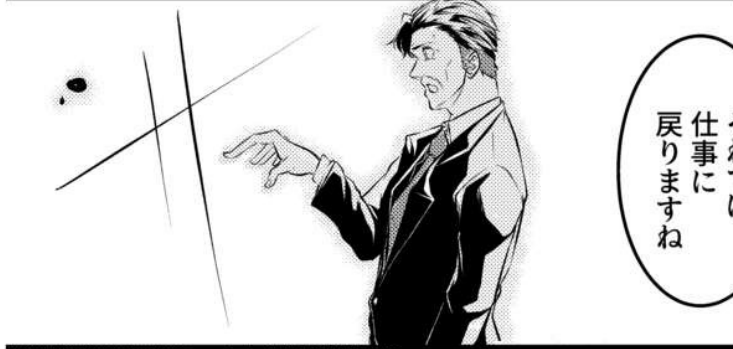




もちろんですよ
白藤さんが好きなので
彼女を僕色に染めます



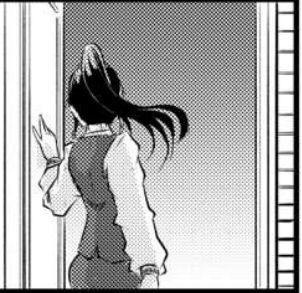
ほ、本気で
言ってるのか？



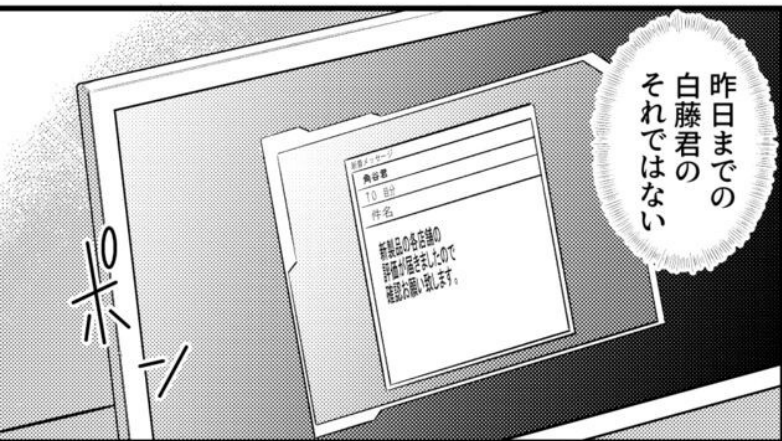
それでは
仕事に
戻りますね



あっそうそう
白藤さんの
好きな人って



課長ですよ





何を
しているんだ

白：
角谷！

え？

これですか？

いいじゃないですか



他の皆さんには
すでに帰ってますし

僕と課長の
2人ですよ

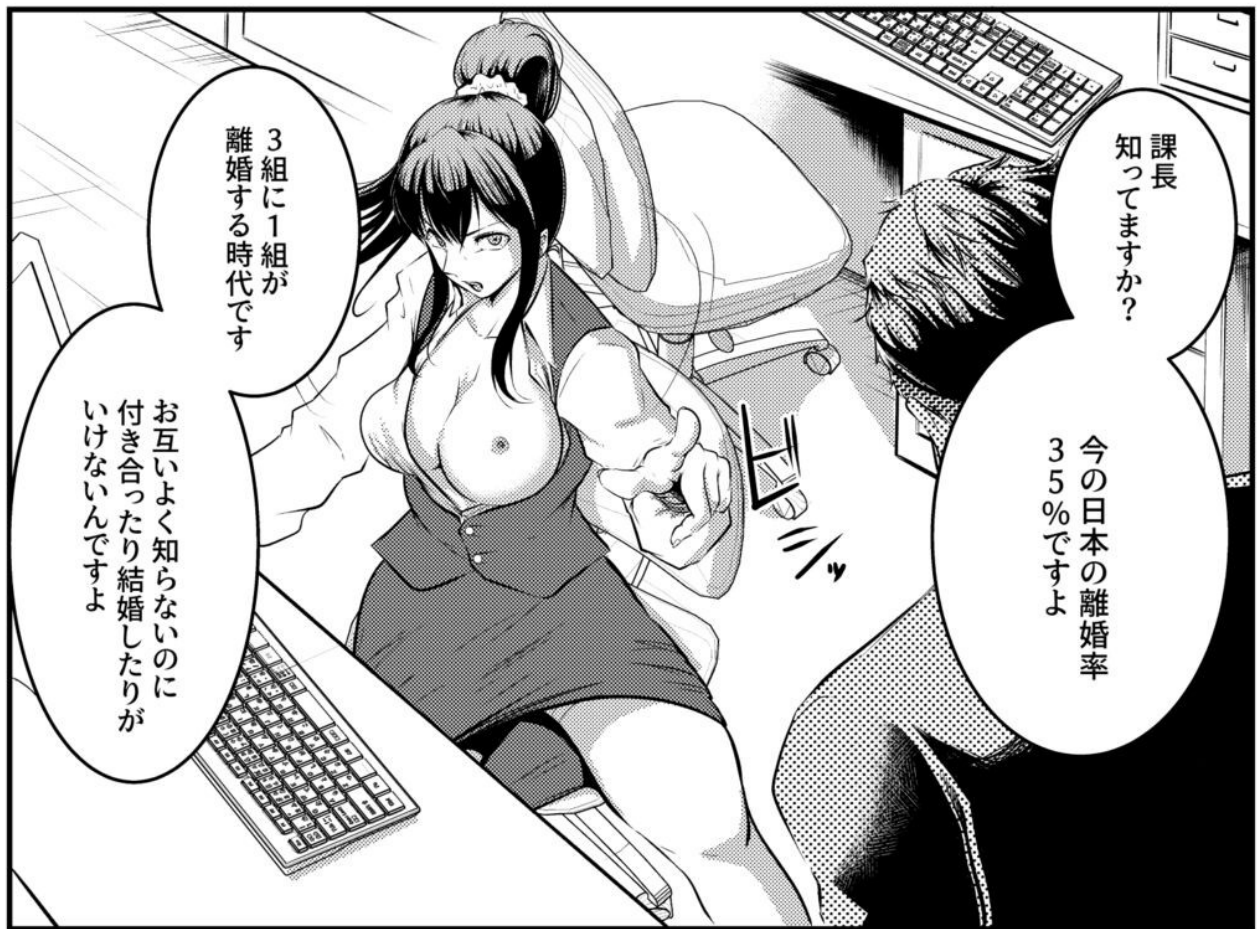


それに
女性って

乳首を弄ると
すごく気持ち
いいんですよ

硬く勃起して
指で摘まむと
全身がゾクゾク
するんですよ

気分転換に
ちよどいいん
ですよ



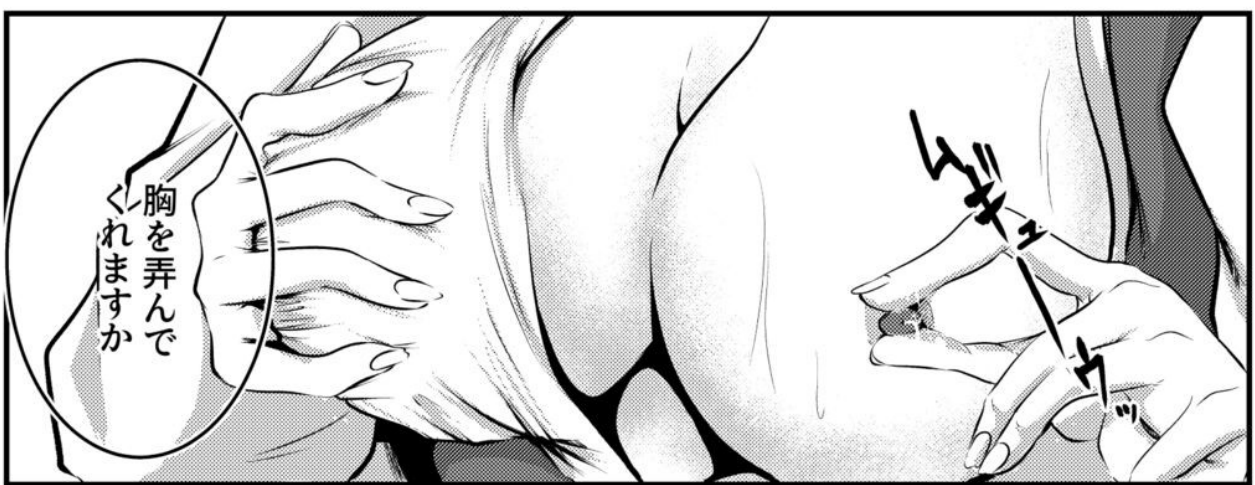




回止め料もかねて
課長の好きにして
いいんですよ



くっ
やめないか
角谷



胸を弄んで
くれますか



オマンコを
ぐちよぐちよに
舐めまわしますか

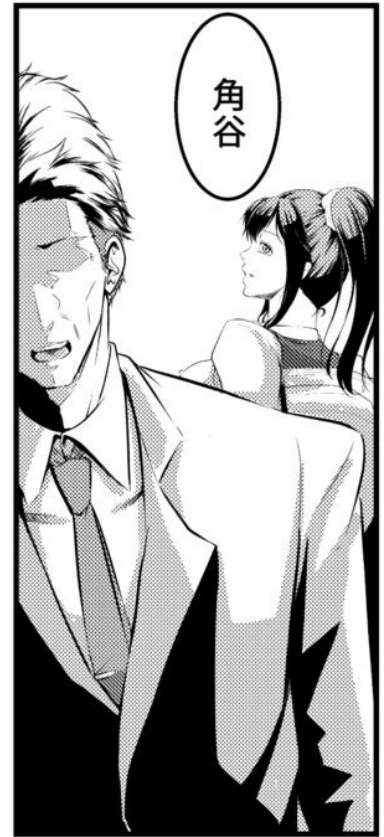


私は帰るよ

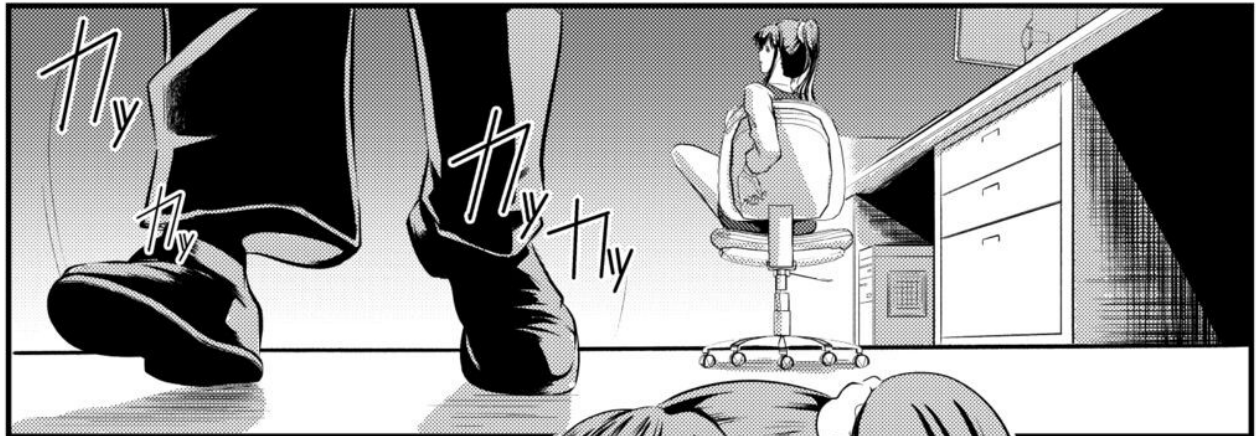




君は愛を
間違えている



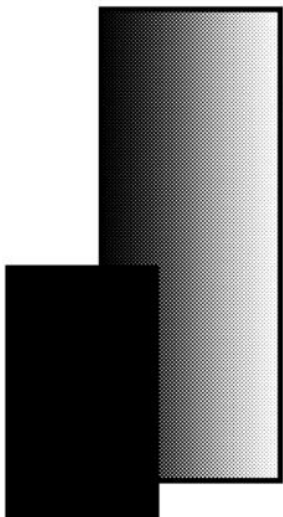
角谷



カッ
カッ
カッ

生きる方が
僕は間違っていると
思いますけど

欲望を
抑え込んで





いつもは
栄養を考えて
食べているのに

ごめんな
白藤さん



この記憶は
消しておこう

裸で食事なんて
本人には
見せられないな



ほらちゃんと
彼女を想ってる

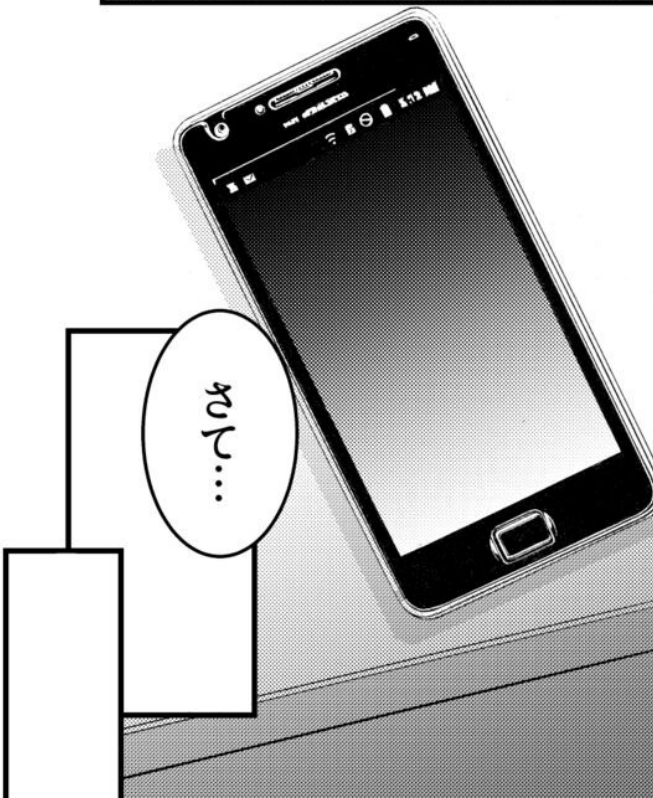
ちゃんと
わかってますよ
愛なら

!!!



あとで
ここを
気持ちよくして
あげるから

待っててね
白藤さん
昨日と
同じように



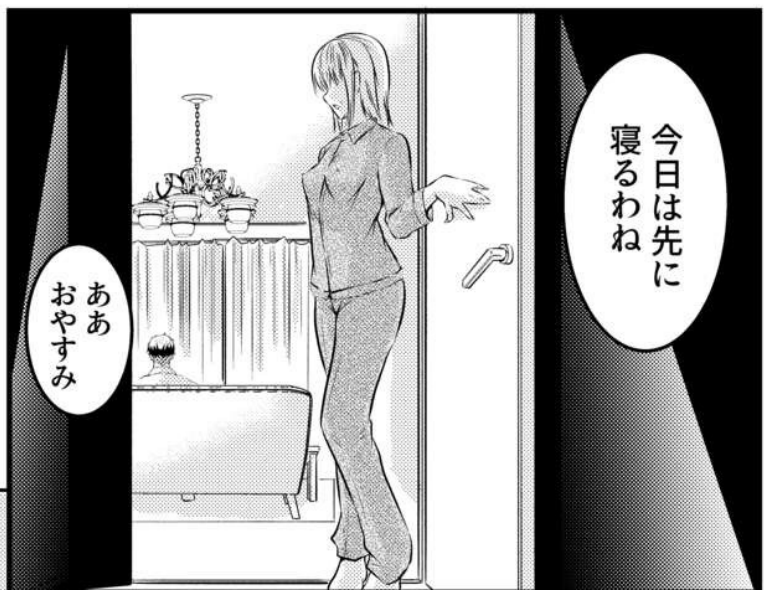
えっ...



僕と白藤さんは
ひとつなんだ

心も
カラダもね

ぬちゅ...





好意を持ってくれる
女性社員を救えず

みすみす角谷の奴に



くそ何も
できないのか

私には



そういえば
記憶の書き換えは
どうやって…



部下を
憎く思ったのは
初めてだ



ああん♡
イイ…



角谷…!





不快なら切って
もらって構わないので



白藤さんが僕色に
染まっていくのを見
届けてください



はあっ



角谷先輩
私の感じるどころ
もっと弄んで
ください

あっ...はあ
んっ...んん...

あっはあ♡



あっ♡ああッ♡
そこっ♡角谷先輩い♡
あはっ...大好きッ

ちゅぽっ♡

んっんっ♡
和弘先輩♡

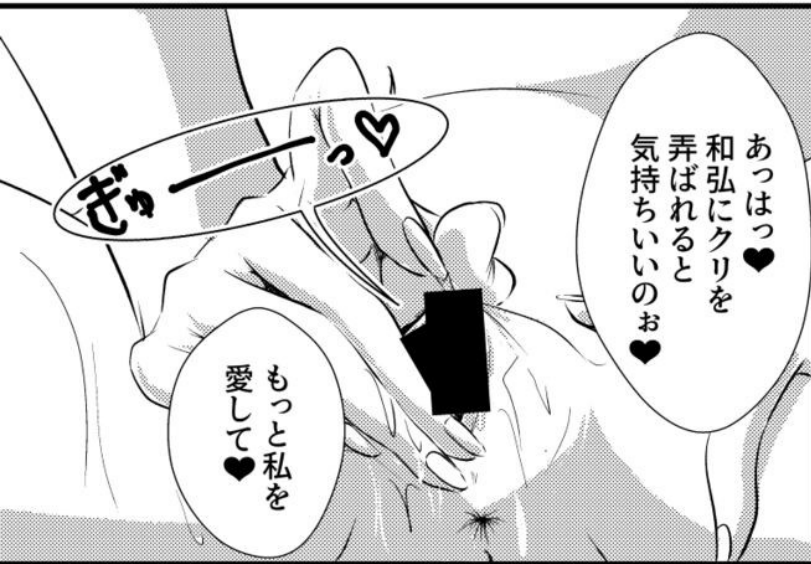
愛してますっ
世界中の誰よりも♡

くちゅ
くちゅ
ちゅぽっ♡
ちゅぽっ♡



ああっ♥
和弘先輩

和弘先輩のためなら
どんな恥ずかしいところも
見せちゃいます♥



あっはっ♥
和弘にクリを
弄ばれると
気持ちいいのお♥

もっ♥私を
愛して♥



くそおおおお



ああっ♥
和弘っ♥
激しい♥

そんなにオマンコを
ぐちよぐちよに
されたらあ♥

イクッ♥
和弘に弄ばれて
私っ♥

す
ちゅっ



気持ちよかつたのお

和弘お♡ はあ♡



じゃあね
私は部下で射精をしてしまった



明日はもっと和弘に激しく愛してもらおうのすっごく楽しみ!





私とセックスして
欲しいのです

それで話とは
なんだ

なっ…角谷
ふざけるのは
やめっ

冗談じゃないですよ
私白藤奈津美として
話しています

私はもう少しで
角谷和弘君を
好きになります

そのために
オナニーだけ
じゃなく

セックスが
必要なんです

奥田課長は
角谷先輩に
なりきって

奥田課長
私とセックス
しませんか





そんな奥田課長
だから頼んでもす

あなたの
肉棒を私に



昨晚私のカラダで
いっぱい射精した
じゃないですか



ねえ…
慎二さん

……



私に好意を持って
清純だった彼女は

もういない

思わず腰が
引ける
私の肉棒を
啜えている
部下の
女性社員が
四十を過ぎた



ううう



今や下劣な角谷の
策略に嵌り

変わり果てた
彼女が目の前に



そんな私も
角谷に協力し

彼女を汚している

……

キザン♡
♡キザン

だがそんなことは
どうでもい



奈津美しい

ああっ



もお和弘君は
強引なんだからあ



じゃあ私の
クリトリス

はあ♡

はあ♡

舐めてくれる？

きゅん♡

くほま♡

まかん♡

あ、ああ
もちろん

もちろん
舐めるさ



あはあああ♡♡♡



イカされ
ちゃった♡

はあ…♡
はあ…♡

とん♡とん♡

もうすぐ…
もうすぐで

私、和弘の
モノになるわ

だから

早く
挿れて♡

こちらだって
我慢の限界さ





うっうっ♡

ああっ♡

すっすっ♡

これが
和弘の♡

すっすっすっ
すっすっすっ



快感

ああっなんて
締め付けた

程なく
忘れていた

ぬっぬっ



いいぞ
奈津美っ

君の膣内っ
トロトロで
気持ちいいぞ

あっああっ♡

わたしの中♡
和弘でいっぱい
なってる♡

おっおっ
おっおっ



んあああ♡

かずひろっ♡
私きもちよすぎて
頭おかしくなりそうっ♡

Fufufu

Aa

Fufufu

Fufufu

Fufufu

Fufufu

Fufufu









瑠璃

妻と離婚し

新たな家庭を
謳歌している



いってらっしゃい
あなた

ああ
行ってくるよ

半年後
角谷と白藤君は
結婚し
今や子供も
生まれようと
しているらしい

私はというと



角谷と同じことを
橋爪君にし

おはよう
ございます
課長

ああ
おはよう

己の欲望を
叶えた



今夜
楽しみに
してますよ

あの頃の私は
もういない

えろっ♡
レロ♡

レロ♡
えろっ♡
レロ♡

はあ♡
はあ♡
はあ♡
奥田課長
楽しみましょう

キョッ♡





私もすっかり
染まっってしまった



はあ♡

は♡

はあ♡

快楽の色に